

排水設備更新に合わせて 環境監視システムを同時導入

お客様工場では排水を浄化する大型設備の更新時期を迎え、この設備投資と同時に工場環境を監視するシステムの導入を決定されました。これは人手不足は今後も続くとの予測からの先手の対策でした。

お客様のプロフィール

会社名
飲料充填工場様

従業員数
約350人

業種
飲料受託充填事業

所在地
国内4工場

食品飲料

工場

導入前の課題

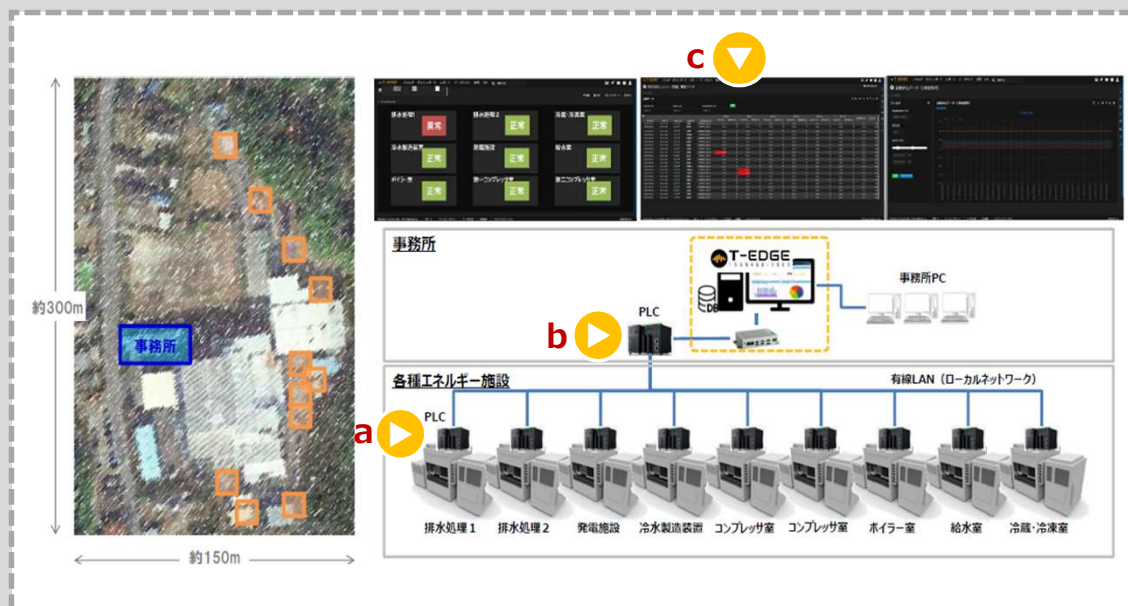
- 水質汚濁防止法の対応に掛かる人的負荷
- 人手不足に伴う従業員の作業負荷増大
- ITを活用した生産性や労働環境の改善

選んだ理由

- 複雑な報告書にも対応する自動作表機能
- 日々変化する現場要求に対応できるシステム
- 生産設備の情報も追加して改善に取り組める

導入の効果

- 測定器の値が正しく記された水質測定記録表
- 見廻り作業廃止による従業員の余裕工数確保
- 本社とのシステム連携による業務効率化



- 煩雑となっていた国への法規制報告を自動化！
- 負荷が高かった人の見廻り作業(2.0h/日)がゼロへ！
- 紙の報告書をペーパーレス化！

■ポイント

- a** (Yellow circle) 点在する環境設備ごとにデータ収集PLCを設置
- b** (Yellow circle) 各データ収集PLCよりデータを集約するPLCを設置
- c** (Yellow circle) 複雑な行政報告様式にも対応できる作表機能

■導入費用・納期

- 機器購入費(制御システム開発含む) 1,500万円
- T-EDGEカスタム開発 400万円
- T-EDGE利用料 60万円/年
- 工期：約5カ月